



THE 8th UCHIKO TOWN JUNIOR HIGH SCHOOL  
ENGLISH SPEECH CONTEST

「第8回内子町  
中学校英語弁論大会」

9月25日、内子座で「第8回内子町中学校英語弁論大会」を行いました。町内4つの中学校から計12人の生徒が会場には約300人が集まり、真剣な表情で弁論に聞き入っていました。

今大会から3つのテーマを設け、自分で選択したテーマについて調べ、他国と比較して弁論することとしました。今回のテーマは「Smoking (喫煙)」「High School Exams (高校入試)」「Changing something at School (学校生活で変えたいこと)」です。

1位となった東影さんは「高校入試」をテーマに選び、中国とアメリカを比較して「高校入試を通して身につけた実力は、大人になったとき必ず役に立つ」と、現行に賛成する考えを発表しました。

2位になった神岡さんをはじめ「喫煙」をテーマに選んだ弁論者たちは、共通して「タバコは公共の場では吸うべきではない」「日本は他国に比べ、タバコに対しての考えが甘い」と喫煙反対を強く訴えていました。

「学校生活で変えたいこと」を主張した中には「やる気を持たせるように落第制度を導入した方がいい」「パワーが必要な中学生に、学校での間食を許可して」などユニークな内容もありました。3位の高本さんは「生徒が高齢者にコンピューターの使い方を教え、高齢者は生徒に家庭教師の役目を果たすといった、地域社会で営まれる学校経営が必要ではないか」と訴えていました。

今回、審査基準を改め、弁論力を高められるようにテーマ設定などを試みましたが、自分の考えを忠実に英語にすることは中学生にとって大変困難だったと思います。しかしながら、この機会をチャンスとして弁論の練習に励んだ皆さんに心から伝えます。「Good Job!」

●上位結果は次のとおりです。

1位	東影 喜子 さん	(大瀬中学校3年)
2位	神岡 美咲 さん	(小田中学校3年)
3位	高本 真澄 さん	(内子中学校3年)

2連覇を果たした東影さん

審査員からは、全体的に素晴らしいと講評されました



弁論後、ドレーン国際交流員が海外の旅行体験を講演



会場の様子